

日本顕微鏡学会 様々な極微イメージング技術若手研究部会 第3回研究会

「表面の様々な極微イメージング」

表面の極微イメージング研究に焦点を絞り、様々なイメージング手法とその研究事例についての講演を行います。各手法の比較や有効な組み合わせの可能性など、徹底的に議論できる場を提供し、新たな萌芽的共同研究の誘発を目指します。

日時：11月23日(月・祝)13時-24日(火)13時(閉会后、姫路に移動して東アジア顕微鏡会議 EAMC2 のオープニングに参加可能)

場所：兵庫県たつの市新宮、志んぐ荘 (<http://www.shinguso.com/shisetu.html>)

参加費：1万円(宿泊費、3食代込み)

人数：申込み先着順で40名(講師14名含む)

共催：文科省科研費新学術領域研究「3D 活性サイト科学」

講演予定：(予定変更の可能性あり。講演タイトルは未定。)

<1日目(11月23日)>

セッションA:「表面の原子レベル構造と元素分析」

- STM/AFM: 小野田 穰(大阪大学)
- 断面TEM観察、プランビュー観察、電子回折: 大島義文(北陸先端大)
- TEM, STEM, EELS(グラフェンを中心に): 越野雅至(AIST)
- X線CTR散乱: 若林裕助(大阪大学)

セッションB:「表面の電子状態と光物性」

- STS, STM発光: 今田 裕(RIKEN)
- Tip-enhanced Raman scattering(TERS), SNOM: 齊藤結花(大阪大学)
- STEM-CL(プラズモニクイメージング): 齊藤 光(九州大学)

セッションC:「表面下部構造と表面効果」

- SEM表層観察: 板倉 賢(九州大学)
- 全反射照明光観察: 新井由之(大阪大学)
- LEED(SiON, シリセン、歪みシリコンなど): 白澤徹郎(東京大学)

<2日目(11月24日)>

セッションD:「表面吸着・反応・成長」

- TEM(ナノ金属触媒の表面反応、表面吸着構造): 吉田秀人(大阪大学)
- AFM(液中その場観察、水和構造): 小林 圭(京都大学)、内橋貴之(金沢大学)
- PEEM(光電子顕微鏡): 小嗣真人(東京理科大)
- TEM(液中その場観察、ナノ粒子成長): 大島義文(北陸先端大)

趣旨説明：

本研究会および当研究部会の目指すところは、それぞれの専門の枠を超えた議論によって新しい観点やアイデアを得て、新たな萌芽的研究へとつなげることにあります。このため合宿形式で開催し、夜の時間にも存分にディスカッションして頂ける企画となっています。講師の先生方には、チュートリアル的な手法原理の説明から、最先端のご研究成果までを広く紹介していただきます。加えて、普段はあまり話さない手法の弱点や今後の発展に向けた問題提起、他手法研究者への疑問の投げかけもお願いしており、各セッションの終わりに設けるパネルディスカッションにおいて各手法間を横並びで議論し直す機会を提供する予定です。

参加申込方法：

氏名、ご所属、連絡先(E-mail, 電話番号)を下記の E-mail アドレスまでご連絡下さい。

microsc@ap.eng.osaka-u.ac.jp

その他の問い合わせ先：

研究部会幹事 山崎 順（大阪大学 超高圧電子顕微鏡センター）

E-mail: yamasaki@uhvem.osaka-u.ac.jp TEL: 06-6879-7941 FAX: 06-6879-7942

顕微鏡学会・様々な極微イメージング技術若手研究部会
代表 波多 聡 九州大学 大学院総合理工学研究院 融合創造理工学部門
http://www.mm.kyushu-u.ac.jp/lab_05/j/samazama.html